

四国巡り一人旅（高知編Ⅲ）

松原ときわクラブ 保科 紀一

第14日目 晴れ 今日もいい天気になりそうです。

6:50 スタート、足もだいぶ楽になり、体調もいい 元気に行きましょう。と 宿を出たが何を勘違いしたのか、右折してしまったようで、気が付いたら「競馬場」の前に出た。遍路地図に競馬場なんて載ってなかったはずだが？



(第34番札所 本尾山 種間寺)

道を間違えたらし、マア道は全国につながっているはず、引き返すのもしゃくにさわるので そのまま前進、何だかえらく遠回りしたようで、30分くらい余計にかかったようです。

(人間 素直が 大切なようです)

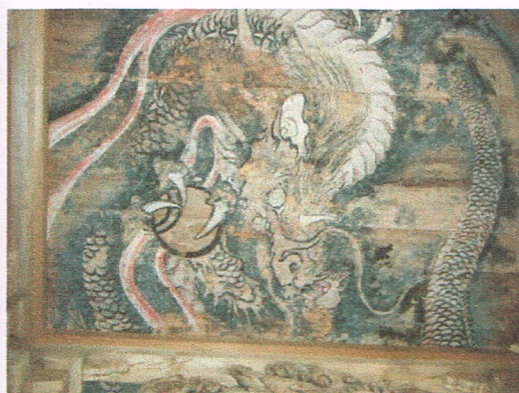
でも無事に「種間寺」に着くことができました。サツソクお参りを済ませましょう。

次の目的地は「35番 清滝寺」ここから約10キロあり、最後は山登りになります。では出発します。門を出てすぐ左に曲がり、道なりに行くと突然舗装が途切れ、左に行く狭い旧道のような道があり、人家の間をウネウネと進みます。すると目の前に高い堤防が現れました。上にも道があるらしいので登ってみると 大きな川でした「仁淀川」です。上流に大きな橋「仁淀川大橋」が見えます。あの橋を渡り対岸に行きます。しかし車の数が多いこと、横断するのに苦労します。橋を渡り終えたらすぐに右に折れ、堤防の道を川の流れを眺めながらしばらく歩くと、左に下り「高岡」の街並みに入ります。今日はここに宿を取ります。道沿いにある宿にお願いしたら、OKです。荷物を宿に預け、空身で寺に向かいます。高速道をくぐると いよいよ参道です。門柱を過ぎると、山登りになり、狭い坂道（車1台程度）を登って行きます。しばらく行きますと、左に遍路道があるのでこれを登ります。山門が現れました、この山門の天井には、一面に龍の絵が描かれています。ここからは石段になり、登り切ったところが境内になります。、大きな薬師如来像が立っ

り、この像の下で体内めぐりができます。さてお参りしましょう。ここからは仁淀川が遙か向こうに眺めることができます。

今日はここまで、山を下って宿へ向かいます。早く下り、一汗流し、一杯やりたい心境ですね。でも山の下りは危険です。あわてず・ゆっくりと、足元に気を付けながら下りましょう。今回はここまでとさせていただきます。

では次回まで ！



(山門の天井絵)